

自閉症への理解深めて

豊橋の壁面を彩る「青」風船
「さくらピア」

世界啓発デー

4月2日は国連が制定した「世界自閉症啓発デー」。豊橋市障害者福祉会館「さくらピア」は同日、啓発デーのシンボルカラー「青」にちなんで水色の風船を300個用意、同館壁面を彩った。

同日は世界各地で自閉症の理解促進に向けた取り組みが行われ、その一環で国内外の建物やランドマーク等が青色にライトアップされる「ライト・イット・アップ・ブルー」も展開。豊橋障害者

(児)団体連合協議会が委託運営する同館では、自閉症の子を持つ親らの「啓発に協力したい」との声に応え昨年からの参加。照明代わりに風船でPRし、大きな反響を呼んでいる。

この日は強風のため用意した懸垂幕は館内に設置したが、たくさんの方々が風に揺れる様子を眺め、同館利用者や近くを通りがかる人の目をくぎ付けにしていた。

合福祉会館「あいトピア」内の喫茶「路面電車」でも啓発イベントに初参加。ブルー・デイジーの青い花苗を先着45人の来店客に進呈したほか、関心のあるお客に呼び掛け、青い薄紙で花を作ってPR幕に貼ってもらう試みも行った。

名古屋テレビ塔も

また名古屋市中では、特定非営利活動法人アスベ・エルデの会などで構成するLIUB名古屋実行委員会が同日夜、大村秀章知事を招き、名古屋テレビ塔をブルーにライトアップした。同市東区東桜2の東桜会館ではラ

イットアップと連動し、3日までオーティスムアート展、自閉症啓発セミナーなどのイベントもっている。

(田中博子)



平成 28 年 4 月 3 日

東愛知新聞